

年間加工実績120万坪を突破

ポラテック

木材仕入れの効率化に取り組む

ポラテック（埼玉県越谷市、中内晃次郎社長）の2017年3月期のプレカット事業は売上高74.8億700万円（速報値、前期比13.6%増）で、構造材加工実績は124万1226坪（同12.4%増）と初の120万坪超えとなった。月間平均で10万坪を超えたことになる。

同社はプレカットの期の実績は、構造材加工最大手で、坂東工場（年工124万1226坪、羽柄材加工76万34858坪）、富士工場（同19万264坪）、滋賀工場（同29万460坪）、東北工場（同11万5644坪）の4工場を持つ。17年3月

増）、外販売り上げ3万7631棟（同15.0%増）、非住宅物件の加工は7万6720坪（同7.0%増）と、いずれも前年度に比べ増加した。

18年3月期は6月から唐津工場が稼働を始め、同工場の加工量は6月3000坪、7月5000坪、その後当面の目標である月間1万坪へ拡大していく。富士工場の2期工事

同社の現在の構造材加工能力は月間15万6000坪だが、唐津工場の稼働で1万坪、富士工場2期工事

坪を上乗せし、17万6000坪に拡大する。同社は、木材（合板含む）を月間6万7000立方メートル使用しており、今後新工場の稼働などで同7万立方メートルへの増加を見込んでい

る。そのため仕入れの効率化に取り組み、内外の10社以上と年間契約による仕入れを増やしている。既にその量は同1万立方メートル規模になっている。長期契約

で価格の安定化を図る考えた。

さらに、フィンランド北部の製材工場からRウッドのラミナを調達して国内の集材工場に支給し、買い戻して自社加工用使用する体制づくりに着手。

「商社時代に南洋材丸太を合板メーカーに販売し、できた製品を販売してきた経験から、こうした仕組みを考えた」と北大路康信専務は話している。

板4万6078坪、外販受注2895棟、外販売り上げ2952棟と若干受注残を消化したが、3月度としては最高の実績。非住宅は6056坪だった。北大路専務は「景況感はある」と話している。

17年3月度の単月での加工実績は、構造材9万5686坪、羽柄材5万8987坪、合